



VI 令和4年度

校訓
仲よく 正しく つよく

美瑛町立美馬牛小学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

求めて わかって 行動する子どもを育てる

育成を目指す資質・能力 何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ねらいに向かって協働して粘り強く努力する力（学びに向かう力・人間性等）
- 自己決定、見通し、振り返りながら学習する力（思考力・判断力・表現力等）
- 教室での学びを全校で、そして外で使える力（生きて働く知識・技能）

今年度の重点目標

○自ら課題を見つけ、粘り強く自己を高める子ども

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 教育課程、学習指導等の評価と改善
- 単元・1単位時間の見通しを児童と共有しながらの授業の充実
- 諸調査・検査に基づく即座の授業改善

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

↑↓: 昨年比

〈児童の実態〉（児童自己評価）4点満点

- ・学校でたのしくすごしている 3.8 ←→
- ・授業がわかる 3.7 ↑
- ・先生は丁寧に教えてくれる 3.7 ←→
- ・元気なあいさつができる 3.7 ↑
- ・運動に親しんでいる 3.8 ↑

「美馬牛」が目指す子どもの姿

「生きる力を身につけ、他者ととともに未来へ歩む」

9年間で身につけさせたい生きる力

- ・様々な問題に対して解決できる力
- ・思いやり、感動する心など豊かな人間性
- ・最後までやり遂げる強い心と体

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・各教科等を学ぶ意義を教師と児童が共有
- ・国語科を軸にした校内研究の充実
- ・学んだことを広く発信し交流する力
- ・学級集団と縦割り集団の意図的活動

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・基礎・基本の確実な定着
- ・主体的・対話的で深い学びの充実
- ・一人一台端末を日常的に使う授業
- ・集団の中で自己開示できる雰囲気醸成

実施するために何が必要か

○実行力ある職員集団 ○指導体制の充実（小中連携） ○家庭・地域との連携・協働

- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 小中の連携をベースとした指導体制
- 家庭・地域・関係機関との連携
- 全ての職員の力を合わせた校務運営
- すべての児童に対する配慮の充実

- PTA や地域の外郭団体との連携
- OCS との連携・協働での業務の効率化
- 家庭・地域・第三者からの評価による教育活動の点検と改善
- 学習相談、教育相談の充実